

平成23年9月9日

禁煙推進学術ネットワーク
委員長 藤原 久義 様

近畿日本鉄道株式会社

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび貴団体より頂戴いたしました「特急列車とホームを含む駅構内の全面禁煙化の要望書」につきまして、下記のとおり回答いたします。

謹白

記

1. 要望1について

【回答】

弊社では、弊社の特長として長距離の特急路線を有していることや、より多くのお客様に快適に特急列車をご利用いただけるサービスを提供すること等から、タバコを吸われるお客様、吸われないお客様の双方が気持ちよくご利用いただけるよう、特急列車においては禁煙車両と喫煙車両を分ける「分煙」を基本としています。

近年は、特急列車における受動喫煙防止への更なる取り組みとして、アーバンライナーでは喫煙コーナーを設置し座席では全席禁煙に、本年4月にはさくらライナーを喫煙室付きの全席禁煙車両にしてみましたほか、22600系・16600系の特急におきましても喫煙室を設けて座席では全席禁煙にするなどの対応を実施し、分煙の強化を進めています。今後も特急列車の更新時等には同様の対応を進めていく予定でございます。

2. 要望2、要望3について

【回答】

弊社では、健康増進法の施行に伴い、平成15年12月11日から地下駅では全面禁煙、地上ホームでは喫煙コーナー以外は禁煙という「分煙」を基本としています。

また、現在設置している各駅の地上ホーム喫煙コーナーにつきましても、平成22年1月より複数ホームのある駅は可能な限り1箇所を集約、1面ホームの駅は可能な限りホーム端に移設という方針で撤去または移設を行い、分煙の強化に努めています。

大阪阿部野橋、大阪上本町、鶴橋、京都の駅ホームに設置している喫煙ルームにつきましては、よりタバコの煙が駅構内等に流れ込まないように分煙を強化する取り組みとして実施しております。

「2010年、全国たばこ喫煙者率（2010年5月JT調査）」で公表されていますとおり、年々禁煙化が進んでいることについても認識を深めているところではありますが、一方でお客様から特急等の喫煙サービス継続を希望するご意見をたくさんいただいているのも事実であり、弊社としてもサービスのあり方として苦慮している状況でございます。弊社では、現状の取り組み内容が最善であるとは考えておりませんが、今後も世の中の動向や、お客様のご意見・ご要望等に留意し、受動喫煙の防止やより良い駅構内・特急車内の環境作りに努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、近畿日本鉄道をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以 上